

小田原市教育委員会協議会会議録

1 日時 平成19年6月28日(木) 午後7時5分～午後7時48分

場所 小田原市役所 301会議室

2 出席した教育委員の氏名

1番委員 山田浩子

2番委員 青木秀夫 (教育長)

3番委員 桑原妙子

4番委員 安藤實英 (教育委員長)

5番委員 横田俊一郎 (教育委員長職務代理者)

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

学校教育部長 和田豊

生涯学習部長 府川善行

生涯学習部次長・生涯学習政策課長事務取扱 時田光章

教育政策課長 曾我勉

学校教育課長 佐宗修二

教職員担当課長 柳下正祐

課長補佐・学事担当主査事務取扱 栢沼一郎

課長補佐兼指導主事・指導担当主査事務取扱 長澤貴

スポーツ課長 篠原祐子

(事務局)

教育政策課課長補佐・教育政策担当主査事務取扱 杉山博之

教育政策課主査 望月啓一郎

4 議事

(1) 報告事項

① 市議会6月定例会の概要について(教育政策課)

- ② 財団法人小田原市学校建設公社経営状況報告について（教育政策課）
- ③ 財団法人小田原市体育協会経営状況報告について（スポーツ課）
- ④ 南足柄市営プールにおける小学生の事故について（学校教育課）

5 議事の概要

(1) 報告事項

- ① 市議会6月定例会の概要について（教育政策課）

教育政策課長…報告事項「市議会6月定例会の概要について」御報告させていただきます。資料1をご覧ください。

6月定例会は6月5日から6月26日まで開催されました。条例議案、補正予算が厚生文教常任委員会に付託され、詳細審議が行われた結果、本会議において原案どおり可決いたしました。なお、同委員会においては、教育委員会関連の2件の陳情も審査されました。また、本会議では一般質問が行われました。条例議案や補正予算の内容は、教育委員会5月定例会でご説明したとおりですが、ここでは、補正予算、陳情及び一般質問について概要のご説明をいたします。

「平成19年6月補正予算概要」を御覧ください。今回の補正要素としては、歳出の「主な内容」欄に記載のとおりですが、学校教育部関係では「児童健全育成用図書購入費」「問題を抱える子ども等の自立支援事業費」また、酒匂幼稚園の延長保育モデル事業の実施に伴います「臨時教諭賃金」がございします。なお、幼稚園延長保育モデル事業につきましては、厚生文教常任委員会において要望があり「モデル事業を通じて多面的な検証をするとともに、子育て支援に係る諸課題を総合的にとらえた研究に努めるよう」望まれました。生涯学習部関係では、「小田原少年少女合唱隊・ポーランド少年合唱団ジョイントコンサート開催費補助金」「第1区城山公民館建設費補助金」「古地図等貴重資料購入費」でございします。

次に、陳情につきましては、国の教職員定数改善計画と義務教育費国庫負担制度に関するものであります「次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書の採択に関する陳情書」が採択、今回の延長保育モデル事業に関するものであります「公立幼稚園延長保育の件についての陳情書」が不採択となりました。内容については、それぞれ陳情

書のとおりです。

次に、一般質問につきましては、10人の議員から質問がございました。項目としては、学校の給食費の滞納状況や介助員の配置、学校現場の多忙化等の問題、また学童保育、文化・スポーツ振興についての質問等がございました。詳細については後ほど御覧いただければと思います。以上でございます。

(質 疑)

横 田 委 員…市内私立幼稚園の延長保育の実施状況はいかがでしょうか。

栢 沼 補 佐…延長保育ではなく、一時的な預かり保育を4園が行っております。

安藤委員長…延長保育のニーズはどの位あるのでしょうか。

栢 沼 補 佐…酒匂幼稚園在園者の保護者に対しアンケートを行いました。8割から9割程度の希望者がいられました。うち、30人近くの方が、すぐにでも希望するという結果が出ています。

桑 原 委 員…希望ではなく、必要性という意味からはどうでしょうか。

青木教育長…保護者の希望を詳しく分析したわけではありませんが、社会的に保育の需要が高まっている中で、延長保育の必要性があると判断いたしました。

安藤委員長…延長保育の必要度の基準を設けるなどして、希望というよりも、保護者の実際のニーズを把握しながら事業を進めてほしいと思います。

山 田 委 員…一般質問の中の「北原白秋を活かしたまちづくり」ですが、内外へのPRについて具体的な考え方はあるのでしょうか。

生涯学習部次長…これまでも「全国童謡フェスティバル」を開催し、白秋先生を顕彰してきましたが、先生自身に光が当たるような顕彰方法を現在庁内で検討しています。骨格としては、先生が歩いた道の整備、案内板の設置、童謡碑の設置、また幼稚園、小学校でも先生を顕彰できるような方策を議論していきたいと考えております。

② 財団法人小田原市学校建設公社経営状況報告について（教育政策課）

教育政策課長…報告事項「財団法人小田原市学校建設公社経営状況報告について」御報告させていただきます。資料2をご覧ください。2ページをお開きください。平成18年度は、学校施設貸付事業として、町田小学校校舎及び三の丸小学校校舎等を小田原市に貸付けいたしました。内容につきましては、

(1) に記載のとおりであります。

続きまして、財務諸表の説明に入らせていただきますが、当期から「公益法人会計基準」を適用し、新しい会計基準での記載となっております。それでは、3ページの正味財産増減計算書を御覧ください。「正味財産」とは「資産総額」から「負債総額」を差し引いたものでありまして、一般に純資産、自己資本と呼ばれるものでございます。この表は、平成18年度における正味財産の増減をあらわしたものです。まず、「一般正味財産増減の部」ですが、「経常収益」の合計は、中段にありますように前年度より68万1,739円減の41万3,579円となります。また、下から2行目にありますように、「経常費用」の合計は、前年度より68万8,982円減の41万1,496円となります。これにより、「経常収益」から「経常費用」を差し引いた当年度の「当期経常増減額」は、2,083円となります。

4ページをお開きください。これにより当年度の一般正味財産に係る期末残高は、期首残高24万7,649円に2,083円を加えた24万9,732円となります。次に、「指定正味財産増減の部」でございまして、当公社の基本財産500万円に変動はありませんでした。従いまして、平成18年度の「正味財産期末残高」は、「一般正味財産期末残高」と「指定正味財産期末残高」を合わせた、前年度より2,083円増の524万9,732円となりました。

続きまして、5ページの貸借対照表をご覧ください。この表は、平成18年度末における資産、負債及び正味財産の状態をあらわしたものでございます。まず、「資産の部」でございまして、流動資産と固定資産を合わせた資産合計は、10億5,491万7,732円となります。次に、「負債の部」でございまして、町田小学校校舎建設事業及び、三の丸小学校校舎建設関連事業に係る長期借入金10億4,966万8,000円でございます。

6ページをお開きください。「正味財産の部」でございまして。先程「正味財産増減計算書」でご説明申し上げましたとおり、当年度の「正味財産合計」は524万9,732円となり、最下段の「負債及び正味財産合計」は5ページの「資産合計」と同額の10億5,491万7,732円でございます。

7ページを御覧ください。「財務諸表に対する注記」ですが、これは当決算における会計方針等を示したものですので、説明は省略させていただきます。

ます。

8ページ及び9ページは、財産目録ですが、これは、貸借対照表を一覧表にしたものですので、説明は省略させていただきます。

続きまして、平成19年度の事業計画及び予算について御説明もうしあげます。12ページをお開きください。まず、平成19年度事業計画ですが、学校施設貸付事業では、前年度に引き続き町田小学校校舎、及び三の丸小学校校舎等を小田原市に貸付けようとするものでございます。

次に、13ページからの「収支予算書」につきましては、事業計画に基づき、前年度実績を基に収入と経費を見込み、編成したものでございますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。以上でございます。

(質疑なし)

③ 財団法人小田原市体育協会経営状況報告について(スポーツ課)

スポーツ課長…報告事項「財団法人小田原市体育協会経営状況報告について」御報告させていただきます。資料3をご覧ください。

2ページをお開きください。体育協会は、市民のスポーツ振興に寄与することを目的として運営しております。平成18年度の事業につきましては、2ページから4ページまでの事業概要に記載してございます。

5ページから24ページにかけては、財団法人小田原市学校建設公社経営状況報告と同様に、事業の実施に伴う経理状況を財務諸表として表しております。

26ページをお開きください。平成19年度の事業計画でございますが、平成19年度の事業内容として、(1)のスポーツ教室の開催では、ケのウォーキング教室からセの親子体操教室を新規に採り入れ、親子で参加できるような教室事業を展開いたします。(2)のスポーツ大会の開催では、婦人バレーボール大会とインディアカ大会の開催を平成18年度で終了しています。その他の事業はほぼ例年どおりでございます。

30ページから38ページにかけては、19年度事業計画に伴います収支予算でございます。以上でございます。

(質疑)

横田委員…平成19年度の事業内容の(1)にある「スナッグゴルフ」とはどういう

スポーツでしょうか

スポーツ課長…プラスチック材質のクラブで、布地のボールを打ち、的に当てるというゲーム性のあるものですが、アメリカなどでは、ゴルフの入門編ともなっています。子どもでも楽しめ、普及を図ってあげればと考えています。

④ 南足柄市営プールにおける小学生の事故について（学校教育課）

学校教育課長…報告事項「南足柄市営プールにおける小学生の事故について」御報告させていただきます。資料3をご覧ください。事故の種類は、プールで溺れ、意識不明になったものでございます。発生日は、5月27日で、本人は、小田原市立小学校の6年生でございます。

内容としては、同日の午後、2名の友人と南足柄市体育センター・プールへ行き、16時過ぎ頃、友人2名が本人に「もう帰ろう」と促すが、本人は、「もっと泳ぎたい」と言って泳ぎ続けました。友人2名は先に着替え、その後、当該児童に異変が起きたと思われます。16時18分頃、本人の近くで泳いでいた女性が気づき、監視員がすぐに水から引き上げました。その時は、心音があり、呼吸は小さく、救急隊を要請しました。到着時には心停止状態で、足柄上病院へ搬送され、その後東海大病院へ転送されました。19時頃より、東海大病院にてICC-CCUで治療を開始いたしました。

治療の結果、心肺は機能を回復しましたが、脳が膨張し、肺にも水が入っていて出血も見られるため、3日間程、体温を下げて様子を見ることにいたしました。6月4日に学級担任が見舞ったところ、危険な状態を脱し、順調に回復しているため、酸素マスクが外され、継続的な投薬は終了しました。その後ですが、6月20日頃、会話ができるように回復しました。現在はやや熱があり、ベッドで横になっているということでございます。退院は未定でございます。

市教育委員会では、6月7日付で各小・中学に対して「児童・生徒の水の事故防止に向けた指導の徹底について」という通知を出し、今回の事故について知らせるとともに、水の事故を含めた安全生活に関する指導と事故を未然に防ぐための対策に努めることを指示いたしました。以上でございます。

横田委員…てんかんの発作が起きて事故になったということでしょうか。

学校教育課長…今回の事故との関係は、はっきりとはわかりませんが、本人は投薬を受けており、学校のプールの授業では、保護者と相談の上、しっかりと見守っておりました。

横田委員…授業外で、プール等にはよく行っていたのでしょうか。

学校教育課長…水泳が好きで、スイミングクラブに通っていたこともあるそうです。

青木教育長…いつも行っているプールなら安全なのでしょうが。

桑原委員…この南足柄市のプールは、小田原市の子どもの利用が多いのでしょうか。

学校教育課長…1年中泳げる室内プールということで利用者も多いようです。

安藤委員長…本人の状態が把握されていないと、監視体制も難しいと思われま

す。青木教育長…公営プールとして、監視体制が問われることもあると思われま

す。安藤委員長…監視員の監視にも限界があると思いますので、保護者の対応も必要と思

います。横田委員…てんかんは差別されるのではと、隠される傾向がいまだにあります。周囲の理解がもっと必要だと思います。

安藤委員長…小田原市内のプールでは、どのような体制となっているのでしょうか。

スポーツ課長…学校の授業のプールでは、子どもの健康状態の把握も可能ですが、それ以外ですと、事前の健康チェックなどはしておらず、難しい問題だと受け止めています。

横田委員…ちなみに排水溝の安全管理はどうなっていますか。

スポーツ課長…市営プールでは、二重蓋構造としてあります。

学校教育課長…学校のプールは、すべて二重蓋構造としてあります。

(その他質疑・意見なし 協議会を終了)